

# 戦 評 用 紙

平成 29 年度県民総合体育大会バスケットボール大会兼埼玉県高等学校バスケットボール新人大会  
平成 30 年 1 月 20 日 (土)

会場 上尾運動公園体育館

第 2 試合

対戦	正智深谷 高校	17	—	8	昌平 高校
	79	18	—	9	55
		25	—	18	
		19	—	20	

第 1P 決勝リーグ第 1 戦、両チームマンツーマンで始まる。先制したのは正智深谷 #6、さらに #5 の 1 対 1 で得点を重ねる。昌平は正智深谷の寄りの速いディフェンスに慣れず、オフェンスで良い体勢を作れずシュートが入らない。17-8 正智深谷リードで第 1P 終了する。

第 2P ディフェンスはともにマンツーマン。正智深谷はノーマークを作りシュートを放つが、リングに嫌われる。昌平は #5 のジャンプシュートが勢いよく決まり、攻撃的な姿勢が続き #6 と #7 のシュートも決まる。残り 3 分 28-17 で昌平がタイムアウトをとり、ディフェンスを 3-2 ゾーンに変える。正智深谷の外角のシュートがなかなか決まらない。昌平はリバウンドからの速攻で追い上げたいが、シュートが決まらない。第 1P 終了と同じく、#5 のブザー寸前の 3P が決まり、35-17 で前半を終了する。

第 3P 正智深谷はマンツーマン、昌平は 2-1-2 ゾーンディフェンス。後半になり、昌平が正智深谷のディフェンスに慣れて来て、パスが逆サイドに素早く飛ぶようになる。昌平 #7 を起点に #5 の 3P や #13 のフローターシュートが決まる。一方、正智深谷は #5 と #7 の 3P やディフェンスからの速攻で得点を重ねる。60-35 で第 3P を終了する。

第 4P 昌平は #7 を起点に攻め、途中交代した #15 の鋭いカットインなど連続得点もあったが、正智深谷のディフェンスから速攻、速いテンポでのシュート、オフェンスリバウンドなどガンガン攻める姿勢を貫かれ、79-55 で正智深谷が勝利を収めた。

(記入者：津留崎 治子)